



市内のがんばるものづくり企業を紹介します だいせんものづくり図鑑

no.25

大曲地域戸蔭地区で二次電池の性能試験を行っているのが、由利電子部品株式会社（真坂護代表取締役）です。

1991（平成3）年に創業。電子精密部品を製造する由利工業株式会社（本社・由利本荘市）の大曲工場として、主に積層セラミックチップコンデンサの製造の受託生産に取り組んでいました。2012（平成24）年、取引先企業の業務形態の大幅な見直しの影響を受け、電子精密部品製造で培った「高品質・低価格・納期厳守」を生かし、2015（平成27）年8月、二次電池の評価と特性試験を請け負う「秋田電池試験センター」として稼働を始めまし



製品開発を「試験」で支える

由利電子部品株式会社 [大曲]

業務内容 / 二次電池の性能試験

従業員数 / 10人

@今回の案内人は同社秋田電池試験センター副センター長の加澤康広さんです

た。電池の受託試験事業への参入は北東北初の試みです。

二次電池は、繰り返し充電して使え、リチウムイオン電池もその一種です。同社では、自動車や住宅用太陽光蓄電池のメーカーから依頼を受け、主に試作品の電池を試験。さまざまな条件下で容量や入出力時の特性、充放電効率を正確に測定・評価し、データを提供します。製品開発に欠かせない性能試験を担うことでメーカーを支えています。

今年1月には電池の受託試験事業で必要とされる国際標準規格「ISO/IEC17025」の認証を取得。顧客ニーズに応じた事業展開を進めたい考えです。